

学校 教育 目標	<b>未来を創造する</b>			
	確かな学力を育みます 豊かな心を育みます 健やかな体を育みます 社会に参画する力を育みます 未来を開く力を育みます	【知】 【徳】 【体】 【公】 【開】	○「わかる」「できる」喜び ○自尊敬感 ○健康な体づくり ○つながりを生むコミュニケーション力 ○主体的に力を合わせて課題を達成する力 ○伝統・文化を尊重し、地域とつながる力 ○志をもって、社会の実現に向けて行動する力	○主体的・意欲的に学ぶ習慣 ○考える力、伝え合う力、解決する力 ○生命を大事にする感性 ○安全への配慮 ○自分の役割や夢に気づき、社会に貢献できる力
学校概要	創立 55 周年	学校長 古谷 孝雄	副校長 市之瀬 由佳	2 学期制 一般学級: 14 個別支援学級: 2 児童生徒数: 516 人 主な関係校: 永野小学校・永谷小学校・芹が谷南小学校

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	上永谷中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <コミュニケーション能力> <問題発見・課題解決能力>	永野小学校 永谷小学校 上永谷中学校	自尊感情を育み、主体的に学び、社会につながる児童・生徒の育成 ○自己肯定感・自己有用感を授業や学級活動等の教育活動の中で育てていく。 ○いじめ根絶に向け、生徒の集団正義を育てていく。 ○行事や生徒活動の中で成功体験を積み上げ、自信を育てていく。 ○地域ボランティアに積極的に参加できる環境をつくり、地域に貢献する姿勢を育てる。

中期 取組 目標	1. 生徒・保護者・地域・市民から信頼される学校づくり 1)安全の保障 2)学力の保障 3)人権の保障 4)情報の公開 5)相互の連携 2. 教師力・チーム力の向上により学校全体の力を高める 1)コミュニケーション力 2)授業力 3)人間力 4)危機管理能力 5)学び続ける力 3. 生徒の持っている力を発見し、社会で生き抜く力を育てる 1)自己肯定感 2)主体的な学び 3)創造に向かう学び 4)支え合う学校風土 5)社会とつながる
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	○校内授業研や小中一貫ブロック授業研において授業公開子どもたちが主体的に取り組む授業をめざす。○一人ひとりの学習の充実を図るため、自尊感情の高まる授業づくりに向けた研修会や授業研究を実施する。○「学習相談」の充実を図る。
担当 学習指導部	
豊かな心	○道徳の授業を中心に、授業や学級活動など、学校のあらゆる活動の中で、自己肯定感、自己有用感を育てる。○志を持った生徒を育てる。志を共有し、支え合える仲間になるように支援する。
担当 道徳・人権	
健やかな体	○生涯にわたって運動やスポーツに親しむことができるように、体育の授業や部活動の活性化を図る。○感染症対策などを引き続き実践し、健康や安全への関心を高め、主体的に課題解決できるようにする。○食育の推進に努める。
担当 保健体育・部活動	
特別支援教育	○すべての生徒が不自由なく生活できるようにするために、授業環境や生活環境のユニバーサルデザイン化を図っていく必要がある。○不登校生徒や学習室を利用する生徒とその保護者が、どのような支援を必要としているのか、それぞれのニーズを把握して、個に応じた支援を実施していく必要がある。
担当 特別支援教育	
生徒指導	○一人ひとりが抱えている背景を共有し、自立に向けて共感的な指導をしていく。○日頃から生徒や保護者との関係を深めるために、「よく聴く」を実践する。○関係機関との報告・連絡・相談を積極的に行い、健全育成に努める。
担当 生徒指導部	
キャリア教育	○1年次に職業講話、2年次に職場体験することで将来の生き方・働き方についての理解を深める。○3年生では、校内や外部機関を活用した進路説明会に参加するよう呼びかけ、自己の進路決定に向けた指導の充実を図る。
担当 特活指導部・総合	
学校運営協議会 ・地域連携	○地区懇談会の内容を引き続き充実させ、近隣の小学校や地域との連携をさらに強化する。○ボランティア活動などを通じて、生徒が地域で活躍する機会を増やし、生徒が達成感を感じられるようにする。○学校支援本部と連携し、「放課後学びの時間」を実施し、学習支援を中心に地域の力を学校で活用する。
担当 地域連携	
教職員研修	○個に応じた学習指導ができるように教科研修・学年での研修を図る。○研修を通じて、学習評価の信頼性を高め、指導と評価の一体化を図れるようにする。○新学習指導要領の改訂に伴い、研修を通じてカリキュラム・マネジメントを学ぶ機会とする。
担当 教務部・校内研修	
いじめへの対応	○個々の事案に対して、いじめ防止対策委員会を中心に組織で対応することを徹底する。○関係機関と連携し早期解決を図る。○未然防止に向け、教育活動全体を通して適切な人間関係、自己有用感の醸成に努める。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営 (働き方改革)	○経営会議で話し合われた事を各学年へ共有し、職員全体で学校経営に携わる意識をもつ。○多忙感解消のために、具体的な対策(毎月1回定時退勤日、留守番電話、学校閉庁日等)をたて、実行していく。○新しい組織での仕事内容、分担を確認しながら実行していく。
担当 経営会議	